

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	男性利用者の「温泉に入りたい」という希望があり、その思いが叶えられるよう、男性職員の応援や家族の協力を得られるよう工夫し、個別の外出支援を期待したい。	利用者様の希望の把握をおこない、出来る限り希望に添えるよう、ご家族の協力や職員配置を考え、個別の外出支援を行っていく。	温泉への要望は他施設の男性職員の協力を得たり、ご家族と相談・連携を図り出来る限り希望に添える外出支援を行っていく。	12 か月
2	12	重度化や終末期の支援では、利用者の身体レベルに応じた介護用ベットや、入浴介助用具など、設備の充実によるサービスの向上と、職員の身体的負担の軽減に期待したい。	利用者様の身体レベルに合わせた介助用品の検討をし、サービス向上と職員の身体的負担の軽減を図っていく。	利用者様の身体レベルの把握を行い、必要な介助用品が整えられるよう、経営努力をしていく。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。